

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	世界近現代史(World Modern History) 131024-14000					担当教員	沢目 健介 (サワメ ケンスケ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要
現代世界に大きな影響をもたらしている欧米的な政治・経済圧力の根底に、その宗教的・文化的な力があることもあわせて授業を進める。日々生起する事柄についても、歴史的な背景を理解するようにつとめる。授業内容は項目として挙げておく。歴史知識が自己の生活を豊かにする視点も考慮する。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力／専門知識・技術力を活用する能力／情報収集・分析力
③ 授業の進め方・指示事項
授業前に次回のテーマを提起する。授業で必要な配布プリントを添付ファイルで受講生全員に提示する。受講生は配布プリントを印刷または画面上で確認しながらの授業となる。購入テキストを事前に読み、留意点をメモしておくことが望ましい。（1時間以上） 授業後はその日のうちに、知識と理解を深めるために自分なりの工夫を施しノートを作成しておくこと（1時間以上）。課題も添付ファイルで提出を求める。作成ノートを前期授業終了前に提出を求める予定である。事情により、「ズーム」を使用したリモート授業を中心とする授業進行も考慮する。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
「日本近世・近現代史」も履修することが望まれる。
⑤ 標準的な達成レベルの目安
(i) 歴史的な視点で現代を理解する態度を養う。日本人学生と留学生と一緒に日本史を学ぶ機会を考慮し、相互の共通の理解を深める。 (ii) 世界史における宗教的な背景の理解を養う。 (iii) 世界史の動向の根源を問う態度を養う。
⑥ テキスト（教科書）
「世界の歴史」編集委員会『もういちど読む山川世界史』（山川出版社、2017年）
⑦ 参考図書・指定図書
適宜授業で知らせる。毎回レジュメ、史料を配布する予定である。

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	70%		15%			15%		100%
(i) 歴史的な視点で現代を理解する態度を養う。	40%		5%			5%		50%
(ii) 世界史における宗教的な背景の理解を養う。	15%		5%			5%		25%
(iii) 世界史の動向の根源を問う態度を養う。	15%		5%			5%		25%
フィードバックの方法	課題提出、質問等で、授業内容理解を確認する。またこのような質問・意見の提示も上記評価の参考とする。事情により、「ズーム」を利用。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
知識定着・確認型 AL を採用する。毎回提出の授業課題用紙の記述を参考にして、次回授業で前回授業内容の補足・必要事項の確認を行う。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）
1	導入 世界史の見方 （古代～中世） ルネサンスと宗教改革	教科書・筆記用具	授業時に次回のテーマを提起する。 関連したところを音読し考えてメモをとる。授業後はその日のうちに、知識と理解を深めるために自分なりの工夫を施しノートを作成しておく
2	イギリス市民革命 （ピューリタン革命と名誉革命）	教科書・筆記用具	授業時に次回のテーマを提起する。 関連したところを音読し考えてメモをとる。授業後はその日のうちに、知識と理解を深めるために自分なりの工夫を施しノートを作成しておく
3	フランス革命	教科書・筆記用具	授業時に次回のテーマを提起する。 関連したところを音読し考えてメモをとる。授業後はその日のうちに、知識と理解を深めるために自分なりの工夫を施しノートを作成し

			ておく	
4	産業革命	教科書・筆記用具	授業時に次回のテーマを提起する。関連したところを音読し考えてメモをとる。授業後はその日のうちに、知識と理解を深めるために自分なりの工夫を施しノートを作成しておく	120分
5	中国および朝鮮半島の近代	教科書・筆記用具	授業時に次回のテーマを提起する。関連したところを音読し考えてメモをとる。授業後はその日のうちに、知識と理解を深めるために自分なりの工夫を施しノートを作成しておく	120分
6	帝国主義時代の開幕	教科書・筆記用具	授業時に次回のテーマを提起する。関連したところを音読し考えてメモをとる。授業後はその日のうちに、知識と理解を深めるために自分なりの工夫を施しノートを作成しておく	120分
7	植民地の従属と抵抗	教科書・筆記用具	授業時に次回のテーマを提起する。関連したところを音読し考えてメモをとる。授業後はその日のうちに、知識と理解を深めるために自分なりの工夫を施しノートを作成しておく	120分
8	第一次世界大戦	教科書・筆記用具	授業時に次回のテーマを提起する。関連したところを音読し考えてメモをとる。授業後はその日のうちに、知識と理解を深めるために自分なりの工夫を施しノートを作成しておく	120分

9	ロシア革命とヴェルサイユ体制	教科書・筆記用具	授業時に次回のテーマを提起する。関連したところを音読し考えてメモをとる。授業後はその日のうちに、知識と理解を深めるために自分なりの工夫を施しノートを作成しておく	120分
10	民族解放闘争の新展開	教科書・筆記用具	授業時に次回のテーマを提起する。関連したところを音読し考えてメモをとる。授業後はその日のうちに、知識と理解を深めるために自分なりの工夫を施しノートを作成しておく	120分
11	危機の20年	教科書・筆記用具	授業時に次回のテーマを提起する。関連したところを音読し考えてメモをとる。授業後はその日のうちに、知識と理解を深めるために自分なりの工夫を施しノートを作成しておく	120分
12	第二次世界大戦	教科書・筆記用具	授業時に次回のテーマを提起する。関連したところを音読し考えてメモをとる。授業後はその日のうちに、知識と理解を深めるために自分なりの工夫を施しノートを作成しておく	120分
13	戦後世界の展開	教科書・筆記用具	授業時に次回のテーマを提起する。関連したところを音読し考えてメモをとる。授業後はその日のうちに、知識と理解を深めるために自分なりの工夫を施しノートを作成しておく	120分
14	現代世界の多極化	教科書・筆記用具	授業時に次回のテーマを提起する。関連したところを音読し考えてメモをとる。授業後はその日のうちに、知識と理解を深めるために自分なりの工夫を施しノートを作成しておく	120分

15	冷戦終結とグローバリゼーション	教科書・筆記用具	授業時に次回のテーマを提起する。関連したところを音読し考えてメモをとる。授業後はその日のうちに、知識と理解を深めるために自分なりの工夫を施しノートを作成しておく	120分
----	-----------------	----------	--	------

⑪ アクティブラーニングについて				
知識定着・確認型 AL を採用する。毎回提出の授業課題用紙の記述を参考にして、次回授業で前回授業内容の補足・必要事項の確認を行う				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
実務経験と授業科目との関連性				